

社会保障・税番号制度

マイナンバー制度

マイナンバー制度とは

マイナンバー（社会保障・税番号）とは、住民票を有するすべての人に通知される12桁の番号です。国や市役所などの複数の機関が持つ個人情報が一人的に活用され、マイナンバー制度は、社会保障、税、災害対策の分野で情報を管理し、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現するための制度です。

マイナンバーを安全に利用するための取り組み

マイナンバーを安心・安全に

◆システム面の保護
個人情報は一元管理とせずに、従来どおり分散して管理し、例えば年金の情報は年金事務所が、税の情報は税務署が管理します。

◆制度面の保護
マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の分野で、法律で定められた手続きに利用します。（下表参照）
また、特定個人情報保護委員会という第三者機関が、マイナンバーが適切に管理されているかを監視・監督します。法律に違反した場合の罰則も、従来より重くなっています。

◆今後のスケジュール
27年10月に通知カードを発行
住民票を有するすべての人に

また、行政機関で情報のやりとりをする場合も、マイナンバーを直接使わない仕組みとし、通信の暗号化を行うなどさまざまな保護措置が講じられます。

12桁のマイナンバーを通知するカードを送付します。
28年1月にマイナンバー利用と個人番号カードの交付が始まります。

番され、広く公開されます。個人番号と異なり、誰でも自由に利用できません。
国では、マイナンバーに関する最新情報を提供しています。

マイナンバー制度で期待される効果



行政手続の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減されます。行政機関が持つ自分の情報の確認や、行政機関からさまざまなサービスのお知らせを受け取ることも可能になります

行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで、さまざまな情報の照合、転記、入力などに要する時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間で連携が進み、手続きが正確でスムーズになります

公平・公正な社会の実現

所得や行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、負担を不当に免れたり、給付を不正に受けることを防止するほか、本当に困っている人にきめ細かな支援ができるようになります

門真市子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、「門真市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

この計画は門真市次世代育成支援行動計画を踏襲したうえで、市の子ども・子育て支援に関する新たな計画を策定したもので、今後はこの計画に基づいて「子どもの最善の利益」の実現に向け、子ども・子育て支援を実施します。

計画期間
27年4月1日～32年3月31日の5年間

計画の対象
生まれる前～18歳の子どもとその家庭、子育てに関わる個人・団体

計画の基本理念
『あふれる笑顔 子どもの輝く未来 かどま』

「子どもの未来」を重点的に捉え、市で育つ子どもの未来が輝かしいものとなるよう、また何より子どもたち自身が将来へ明るい希望を持って笑顔で育つことができるよう、地域全体で子どもや子育てを支援します。

計画の基本目標

- 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
- 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
- 子育て家庭を地域のみならず支える環境づくり

閲覧場所
こども政策課、市情報コーナー、こども発達支援センター、南部市民センター、保健福祉センター、市立公民館、文化会館、図書館、市民プラザ、市立幼稚園、市立保育所、市ホームページ

問合せ先
こども政策課
☎06(6902)6095

マイナンバー制度を利用する手続き

分野	手続き
社会保障	年金 年金の資格取得・確認、給付など
	労働 雇用保険などの資格取得・確認、給付など ハローワークの事務など
	福祉・医療 医療保険などの保険料徴収など 福祉分野の給付、生活保護など
税	税務当局に提出する確定申告書、届出書、調書など
災害対策	被災者生活再建支援金の支給、被災者台帳の作成に関する事務など

法人にも番号を付番

法人にも13桁の法人番号が付番されます。また、29年7月からは自治体などでも情報連携が開始される予定です。

問合せ先
【通知カード・個人番号カードについて】
市民課
☎06(6902)5970
【制度全般について】
企画課
☎06(6902)5793

マイナンバーコールセンター
☎0570(20)0178
マイナンバーコールセンター（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応）
☎0570(20)0291
開設時間 平日午前9時30分～午後5時30分（年末年始を除く）



姫路城の城内での作業

姫路城の大改修に携わる

栗原木工株式会社と姫路城との関わりは、4年前に遡ります。展示ケースや什器の製造を依頼されたことがきっかけでした。また、昨年の大河ドラマ「黒田官兵衛」の放送時には「官兵衛」が姫路城と縁のあることから、急ぎで特別展示場の設置依頼を受けました。その仕事内容が認められ、平成の大改修の一部を任せられることになりました。姫路城は昭和の大改修で陳列棚などの什器を設置したため、城本来の構造物である柱や梁、壁などが隠れていました。今回の改修では什器を撤去し、案内

創業55年、丁寧にごたわり

姫路城の大改修に貢献

栗原木工株式会社

(三ツ島5-19-2)



姫路城の改修に携わった栗原木工株式会社の皆さん

創業以来変わらぬ強み

同社の強みは、丁寧な仕事です。創業当時はわずか3人の会社でしたが、大手外食チェーン店の東京進出にあたり、内装から当時は外注が主流の工程までを一貫で請け負っていました。その丁寧な仕事に認められ、以後も500件あまりの仕事が任せられています。「丁寧な仕事を続ける。創業以来変わらぬその精神は、今では社風となり従業員一人ひとりに受け継がれています。この精神



(右から) 栗原政俊代表取締役、栗原英雄専務取締役

今後の栗原木工

「従業員にやさしい会社でありたい。機械工程を6割から8割にすることでスピードアップし、従業員が効率的に仕事をできる環境を作っていきたい。その中でも、今までと変わらず、熱意をもって、信用してもらえ、仕事を続けていきたい。」と、栗原政俊代表取締役は熱く語りました。